

第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案（外国人の人権）

1 主題「外国人と人権」

2 主題設定の理由

外国人の増加にともない、言語、宗教、習慣等の違いから、様々な人権問題が発生しています。例えば、外国人であることを理由に、アパートへの入居や公衆浴場での入浴を拒否されたり、外国人を排斥する趣旨の言動が公然とされたりする事案が発生しています。

学校生活では、言葉や身体的な特徴、それぞれの国の風習や行動の違いなどによって、周りの子と同じようにコミュニケーションが取れないことや集団になじめないことが起きやすい。それらの様子をとらえて、身勝手な言葉や行動などがいじめという形で人権を侵すということがある。本校では、入学時から外国籍の生徒の数が多いだけでなく、途中からの外国籍の転入生徒もあり、このような問題が起きうる環境にある。

学習を通して、資料の中の出来事ではなく、日常の場面の当事者として考えを深め、仲間・学級のために自分がすべきことを考えて、誠実に行動したり、仲間の頑張り認めたりしていく意識を育てる。

3 単元の目標

事例（動画視聴）を通して、「外国人の人権課題は何か（周りの人をリスペクトする／尊重すること）」を考え、交流を通して理解を深めるとともに、よりよい人間関係を築こうとする意識を育てる。

4 単元目標

項目	問題解決につながる知識 (認識力)	共同的に学ぶ技能 (自己啓発力・行動力)	自他を大切にする 価値観および意欲 (自己啓発力・行動力)
規準	資料を通して、視覚的な情報だけで判断するのではなく、人それぞれに思いや困り感をもっていることに気付くことができる。	異国の地での生活で困ることは何かを仲間の考えと自分の考えを比較しながら聞き、お互いに気付けなかった思いを共有する。	相手の立場に立って、何に困っているかを考えとともに、相手の思いを受け止め、お互いに尊重していこうという意欲をもつ。

5 本時の目標

動画の視聴を通して、主人公がどのような場面で人権を大切にされていないかを考え、日常の場面でも同様なことが起きていないかを振り返ったり、当事者としてどのような行動をすればよいかを考えたりすることができる。

6 本時の展開

時間	内容	◇指導・◆援助
<p>導入 (わかる)</p>	<p>1. イメージでもっている印象を確かめる。 発問「日本における外国人の人権課題とはどのようなことをイメージしますか？」 予想される答え・言語 ・習慣 ・考え ・服装 ・宗教等 ・具体的な場面を通して、抽象的な表現が示すことを学級全員が理解できるようにする。</p> <p>2. 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 「外国人の人権」は日常生活において、どのようなことをいうのだろうか。</p> </div>	<p>◇各自がプリントに自分の考えを書くように指導する。文章でも、箇条書きでもよい。</p> <p>◇抽象的な表現には「それって何？」などの深めの発問をして、具体的な単語を出す。</p>
<p>活動① (わかる)</p>	<p>3. 動画の視聴 (全体指導/電子黒板) <Youtube MOJ チャンネル/人権啓発ビデオ 人権作文> 「わたしたちが伝えたい、大切なこと/差別のない世界へ」 (8分16秒) https://www.youtube.com/watch?v=xT4uMB6KqFE ・内容を見て、気付いたことをメモする。</p>	<p>・事前の電子黒板の準備をしておく。</p>
<p>活動② (深める)</p>	<p>4. 動画の内容について交流する。 (1) 学習班で交流する。 ・動画を見て「課題」と感じる場面と、それに対してどのように接していけばよいか。 (2) 全体で交流する。 ・黒板で意見をまとめる。</p> <p>○先入観 (容姿、服装、見た目) で決めつけない。 ⇒ 違っても受け入れる。日本人同士でも起きること。 ○周りの人に流されない。強い人に同調しない。 ○人に聞くのではなく、自分で語りかけてコミュニケーションをとる。 ⇒ 周りの情報に流されるのではなく、自分で確かめる。</p>	<p>◆動画の具体的な場面をあげる ◆客観的 (当事者でない) な立場で対応を考える</p> <p>◇「課題」に対する「対応」を併記させて板書する。</p> <p>◇動画の内容から、「いじめ問題」として話が進まないように気を付ける。「外国人の人権」という観点を板書で示す。</p>
<p>活動③ (育む)</p>	<p>5. 自分たちの学級の様子を考える。 (1) 学習班で交流する。 (2) 全体で交流する。</p> <p>○先入観で決めつけてはないけど、コミュニケーションが足りていない。 ○タブレットで翻訳して、たくさん語り掛ける。 ⇒ コミュニケーションの取り方について育む。 ○一緒に行動して、何に困っているか気付く。 ○関わりすぎるのも相手が付かれるかもしれない。ほどよい距離感を必要なのではないか。 ⇒ 関わりが押し付けにならないようにする配慮する心を育む。</p>	<p>◆日常の具体的な場面をあげる。 ◆主観的 (当事者として) な立場で対応を考える。具体的な手立て確認する。 ◇「それってどういうことをするの？」などの発問で、抽象的な表現を具体的な表現にかえる。</p>
<p>活動④ (育む)</p>	<p>6. 本時の学びと振り返りを記入する。 ・これまででは、当たり前と思って気付かずにいたことに、気付くことができた。 ・相手が自分たちに合わせるのではなく、自分たちが相手に合わせていくことも必要だ。 ・相手を理解するには、コミュニケーションが大事だ。</p>	<p>◇生徒の感想を発表してもらおう。 ◇生徒のこれからの行動を価値づける。</p>

